



県議会視察団 知事に提言書

環境整備や情報発信

宇宙の謎に迫る国際リニアコライダー（ILC）誘致実現に向け、スイスの欧州合同原子核研究所（CERN）などを視察した県議会欧州視察団（工藤大輔団

長）は11日、達増知事に環境整備や情報発信の在り方を提言した。

昨年8月に視察した工藤団長（創成いわて）ら県議12人が県庁で、達増知事に提言書を手渡した。提言は▽多様性の視点を持った生活環境整備▽建設候補地の情報発信の強化―など8項目。ILCと地域が共存するため、誘致のメリットとデメリットを県民と共有し、開かれた議論を促した。

工藤団長は「知事を先頭に一層の取り組みをしていただきたい」と求め、ハクセル美穂子氏（いわて県民クラブ）は「病院や学校の通訳がとても重要。国際交流協会などとの連携をスタートさせてもいいのではないかと」と語った。

達増知事は「実現に向けて重要な時期を迎えている。県としても必要な準備を加速させる」と述べた。